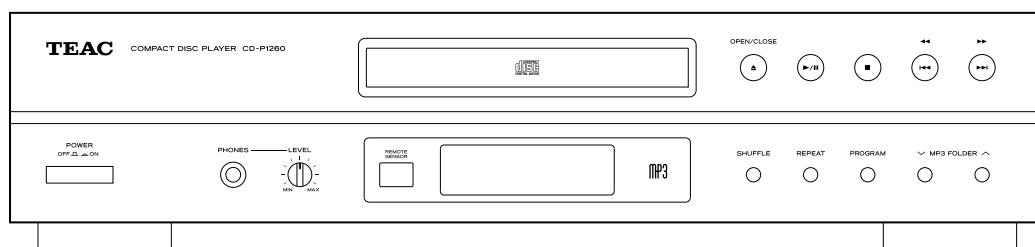
3D0787900A

TEAC

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

CD-P1260

CDプレーヤー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、
いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目　次

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

RCAオーディオケーブル×1
リモコン(RC-1044A)×1
リモコン用乾電池(単3)×2
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機を十分にテレビから離してお使いください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なにおいや音がするときは。
機器の内部に異物や水などが入ったときは。
この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。
コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。

電源プラグにほこりをためない。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

交流100ボルト以外の電圧で使用しない。
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。
内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

分解禁止

この機器のキャビネットは絶対に外さない。
キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。

この機器を改造しない。
火災・感電の原因となります。

強制

この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。
ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。
機器のまわりにすきまがないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために(続き)

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

強制	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。** **また、接続は指定のコードを使用する。** それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	この機器の付属の電源コードセットを他の機器に使用しない。 故障、火災、感電の原因となります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
電源プラグをコンセントから抜け	**移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 乾電池に関する注意

禁止

乾電池は絶対に充電しない。
破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 注意 電池に関する注意

強制

電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。
間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。
液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない。
新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。
ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

分解しない。
電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのあるCD
(12cm/8cm)

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。
または、MP3ファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

⚠ **上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオCD、CD-ROMなどはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどは本機で読み込むことはできません。また、再生もできません。

⚠ **DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどをディスクトレーに入れると、ディスクを読み込もうとして高速回転します。万が一これらのディスクを入れてしまった場合は、ディスクを傷つけるおそれがありますので、必ず回転が終わってから取り出してください。(「READ」の表示中には取り出さないでください)**

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

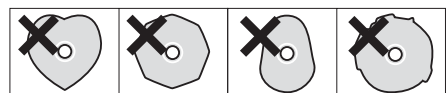
- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、録音/再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。

- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

MP3について

本機は、CD-R/CD-RWに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

- 本機で再生できるMP3ファイルは、モノラルまたはステレオのMPEG-1 Audio Layer 3フォーマットで、サンプリングレートが44.1または48 kHz、ビットレートが320 kbps以下のファイルです。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

ファイル名の表示について

本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

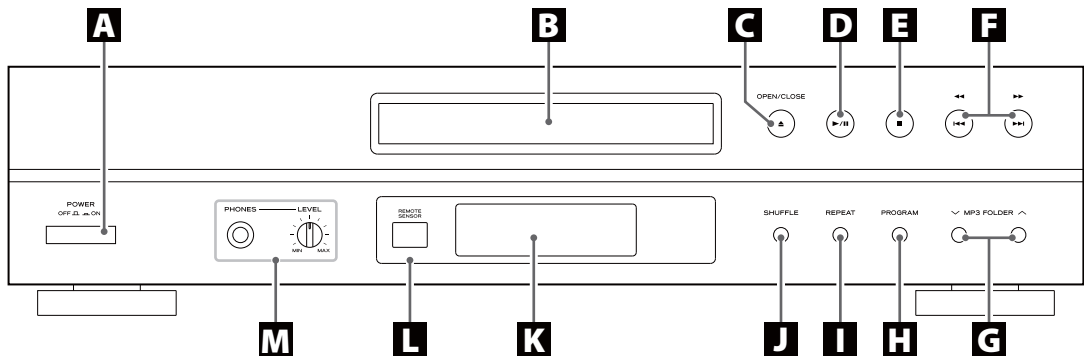
- ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが正しく表示できません。その場合、「UNKNOWN(不明)」が表示されます。

パソコンなどを使ってMP3ファイルを作成する際のご注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。MP3ファイルの認識はファイル拡張子(「.mp3」)で行います。
- クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 作成する際に使用するソフトウェアのマニュアルをよくお読みください。

本機で再生できない、または一部が再生できないディスク

- 拡張子のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。
- 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ISO9660規格で記録されていないディスクは再生できません。
- ファイル数が500、フォルダ数が200を超えて記録してあるディスクについては、501番目以降のファイル、201番目以降のフォルダは本機で再生できません。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

各部の名称

A 電源スイッチ [POWER]
電源をオン/オフします。

B ディスクトレー

C 開閉ボタン [OPEN/CLOSE] [⏏]
ディスクトレーを開閉します。

D 再生/一時停止ボタン [▶/❚❚]
再生を開始/一時停止します。

E 停止ボタン [■]
再生を停止します。

F スキップ [|◀◀ / ▶▶|] / サーチ [◀◀/▶▶] ボタン
前または後ろの曲にスキップします。
再生中にサーチボタンを押し続けると、早送り/早戻しができます。

G MP3フォルダボタン [∨/∧]
MP3再生のとき、前または後ろのフォルダにスキップします。(13ページ)

H プログラムボタン [PROGRAM]
プログラム再生に使用します。(16ページ)

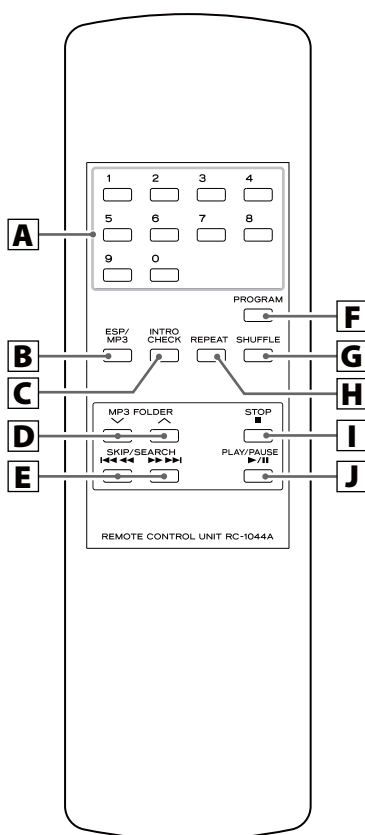
I リピートボタン [REPEAT]
リピート再生に使用します。(14ページ)

J シャッフルボタン [SHUFFLE]
シャッフル再生に使用します。(15ページ)

K ディスプレー

L リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

M ヘッドフォン端子 [PHONES] /レベルつまみ [LEVEL]
ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグを端子に差し込み、レベルつまみで適切な音量にします。

⚠ 音量を上げすぎないよう、ご注意ください。

A 数字ボタン
選曲などに使用します。

B ESP/MP3ボタン
CD再生のとき、音飛び防止機能の切替えに使用します。(13ページ)
MP3再生のとき、曲の情報を表示するのに使用します。(13ページ)
また、MP3のサーチモードに使用します。(18ページ)

C イントロチェックボタン [INTRO CHECK]
イントロチェックに使用します。(15ページ)

D MP3フォルダボタン [∨/∧]
MP3再生のとき、前または後ろのフォルダにスキップします。(13ページ)

E スキップ [⏮/⏭] / サーチ [◀◀/▶▶] ボタン
前または後ろの曲にスキップします。
再生中にサーチボタンを押し続けると、早送り/早戻しができます。

F プログラムボタン [PROGRAM]
プログラム再生に使用します。(16ページ)

G シャッフルボタン [SHUFFLE]
シャッフル再生に使用します。(15ページ)

H リピートボタン [REPEAT]
リピート再生に使用します。(14ページ)

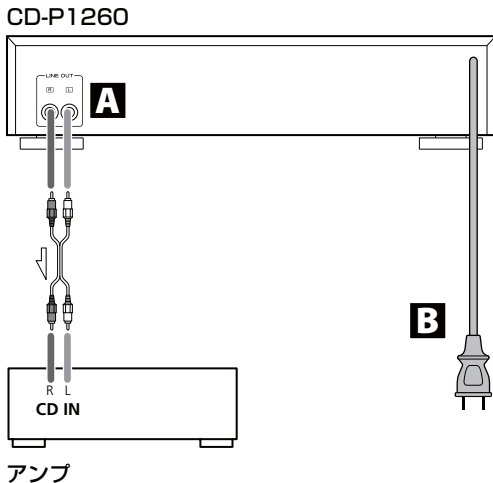
I 停止ボタン [■]
再生を停止します。

J 再生/一時停止ボタン [▶/II]
再生を開始/一時停止します。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書では本体のボタンを使って説明していますが、リモコンのボタンも同様に使えます。

接続方法

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A 音声出力端子 [LINE OUT]

2チャンネルのアナログの音声を出力します。RCAオーディオケーブルを使って、アンプの音声入力端子と接続してください。

- RCAオーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。

B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ **交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。**

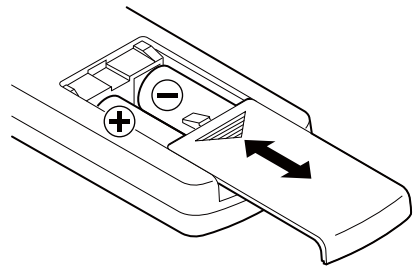
リモコンの使い方

使用上の注意

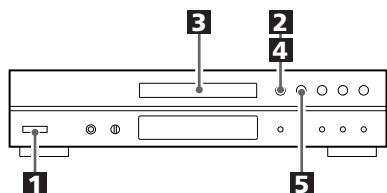
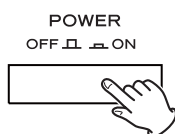
⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

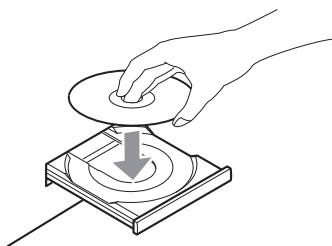
電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

基本操作

1 電源スイッチ(POWER)を押して電源をオンにする。

- ディスクが入っている場合は、自動的に再生を始めます。

2 開閉ボタン(▲)を押して、トレーを開ける。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

- トレーには2枚以上ディスクをのせないでください。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

4 開閉ボタン(▲)を押して、トレーを閉める。

- ディスクの読み込みには数秒かかります。ディスクの読み込み中は、ボタンを押しても機能しませんので、ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。

CDの場合

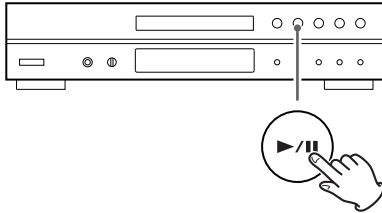
MP3ディスクの場合

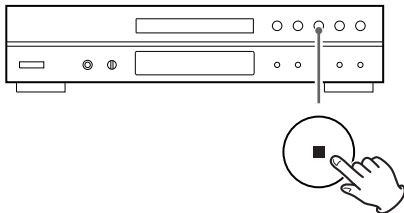
5 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押して再生を始める。

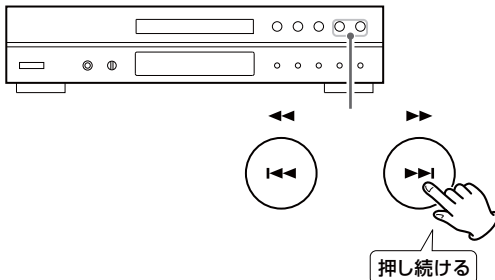
1曲目から再生が始まります。

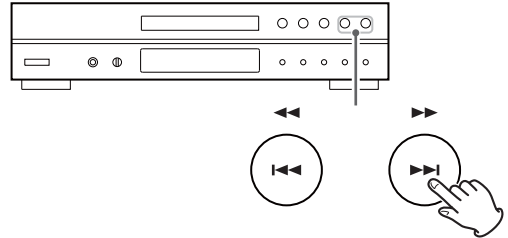
- フォルダに入っていないMP3ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。再生はROOTフォルダの1曲目から始まります。
- 最後の曲の再生が終わると停止します。
- MP3ディスクの再生順については21ページをご覧ください。

基本操作(続き)

再生を一時停止するには

再生/一時停止ボタン(► /II)を押すと再生が一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(► /II)を押すと、再び再生を始めます。

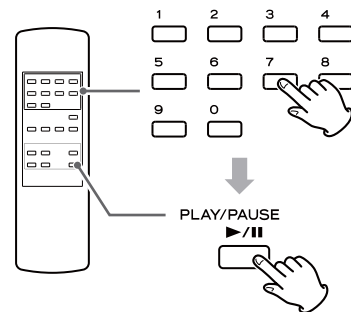
再生を停止するには

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

聴きたい部分を探すには(サーチ)

再生中にサーチボタン(◄◄または►►)を押したままでいると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

聴きたい曲を探すには(スキップ)

再生中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

停止中は、スキップボタン(I◄◄ / ►►I)で選曲したあと、再生/一時停止ボタン(► /II)を押して再生を始めてください。

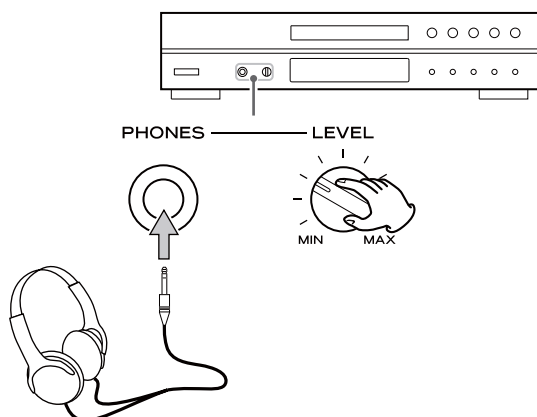
● 再生中は、I◄◄ を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ を続けて押してください。
● プログラム再生中は、プログラム中の前の曲、または後ろの曲が再生されます。

数字ボタンで曲番を選んで再生するには

再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲を選択したあと、10秒以内に再生/一時停止ボタン(► /II)を押すと、その曲から再生を始めます。

曲番7: 7

曲番23: 2 ➡ 3

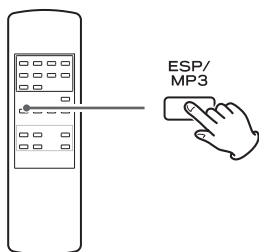
● プログラム再生中、またはシャッフル再生中は数字ボタンでの選曲はできません。

ヘッドホンで聴くには

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグ(ステレオ標準プラグ)をヘッドホン端子(PHONES)に差し込み、レベルつまみ(LEVEL)で徐々に音量を調節してください。

⚠ **必ず音量を下げてからヘッドホンプラグを差し込み、ヘッドホンを着けるようにしてください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。**

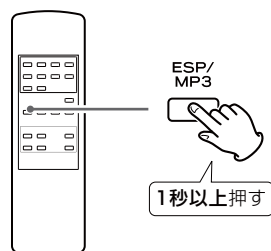
音飛び防止機能

本機には、振動による音飛びを防止するためのESP機能(Electronic Shock Protection)が内蔵されています。これから再生するデータを先に読み込むことによって、音飛びを防止します。

CD再生のとき、ON/OFFの切替えができます。MP3のディスクの再生中は、ESP機能は常にオンになります。

CDの再生中にESPボタンを押すと、ESP機能のオンとオフが切り換わります。

オンにすると、「20 SEC (20秒)」が一瞬表示され、ESPインジケーターが点灯します。

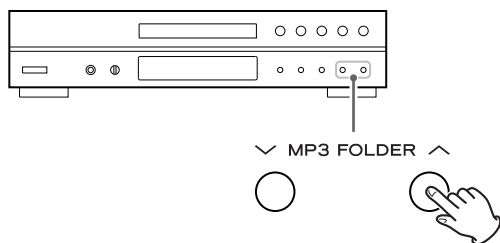
- データの読み込み中は、ESPインジケーターが点滅します。
- 本機が振動のない安定した場所に設置されている場合、CD再生時にはESP機能はオフにして使用することをおすすめします。

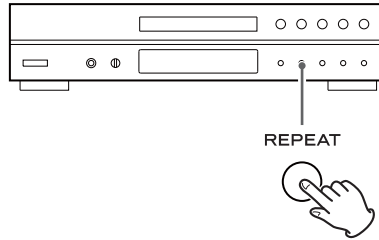
MP3情報を表示するには

MP3の再生中にMP3ボタンを1秒以上押し続けると、再生中の曲の情報がディスプレーに表示され、次のように切り換わります。

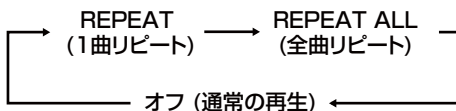
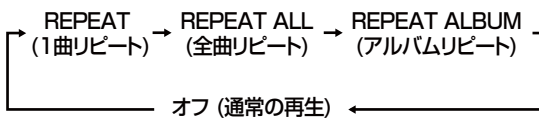
ファイル名 ➡ 曲名 ➡ アーティスト名 ➡ アルバム名

もう一度MP3ボタンを1秒以上押し続けると、通常の表示に戻ります。

- 該当する情報がないときは「NONE (なし)」が表示されます。
- ファイル情報を読み取れないときは、「UNKNOWN (不明)」が表示されます。
- 本機のディスプレーには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが「UNKNOWN (不明)」が表示されます。

フォルダをスキップするには(MP3再生)

MP3フォルダボタン(∨/∧)を押すとフォルダをスキップします。

リピート再生

リピートボタン(REPEAT)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

CDの場合

MP3ディスクの場合

- 以下のボタンを押すとリピート再生は解除されます。

  本体

  電源スイッチ(POWER)
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  開閉ボタン(▲)
  停止ボタン(■)

  リモコン

  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  イントロチェックボタン(INTRO CHECK)
  停止ボタン(■)

1曲リピート [REPEAT]

再生中にリピートボタン(REPEAT)を**1度押す**と、REPEATインジケーターが点灯し、再生中の曲をくり返し再生します。

- リピート再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を使って他の曲を選んだ場合は、その曲をくり返し再生します。
- 停止中は、リピートボタンを押してからスキップボタン(⏮/⏭)で曲を選び、再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと、1曲リピート再生を始めます。

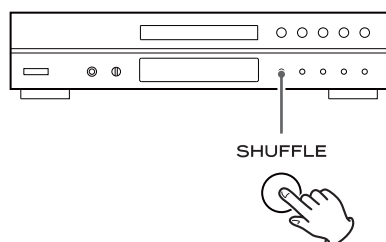
全曲リピート [REPEAT ALL]

再生中にリピートボタン(REPEAT)を**2度押す**と、REPEAT ALLインジケーターが点灯し、ディスクの全曲をくり返し再生します。

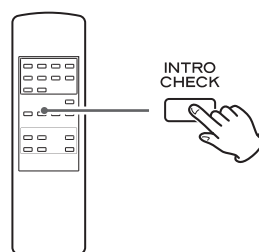
- プログラム再生中は、プログラムした曲をくり返し再生します。

フォルダリピート [REPEAT ALBUM] (MP3ディスクのみ)

再生中にリピートボタン(REPEAT)を**3度押す**と、REPEAT ALBUMインジケーターが点灯し、再生中のフォルダの全曲をくり返し再生します。

シャッフル再生

停止中にシャッフルボタン(SHUFFLE)を押すと、SHUFFLEインジケーターが点灯し、ディスクの曲がランダムに再生されます。

- シャッフル再生中に ►►I ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
  シャッフル再生中は、再生が終わった曲には戻れません。
- シャッフル再生中は数字ボタンでの選曲はできません。
- シャッフル再生中はリピート再生はできません。
- 全曲再生が終わると、シャッフル再生を解除して停止します。
- 以下のボタンを押すとシャッフル再生は解除されます。
  本体
  電源スイッチ(POWER)
  開閉ボタン(⏏)
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  停止ボタン(■)
  リモコン
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  イントロチェックボタン(INTRO CHECK)
  停止ボタン(■)

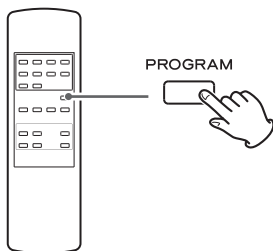
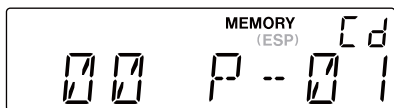
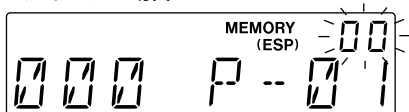
イントロチェック

再生中または停止中に、イントロチェックボタン(INTRO CHECK)を押すと、INTRO CHECKインジケーターが点灯し、各曲の冒頭部分が順番に10秒ずつ再生されます。

イントロチェック中に聴きたい曲が見つかった場合は、イントロチェックボタン(INTRO CHECK)を押すと通常の再生に戻ります。

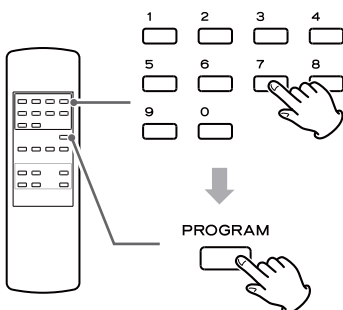
- イントロチェック中にスキップボタン(I◄◄ / ►►I)を押すと、前または次の曲にスキップします。
- 通常の再生中にイントロチェックボタン(INTRO CHECK)を押すと、再生中の曲の頭からイントロチェックが始まります。
- イントロチェックでのリピート再生、シャッフル再生はできません。(各曲の冒頭部分10秒ずつのリピート再生、シャッフル再生はできません)
- 全曲のイントロチェックが終わると、イントロチェックを解除して停止します。
- 以下のボタンを押すとイントロチェックは解除されます。
  本体
  電源スイッチ(POWER)
  開閉ボタン(⏏)
  停止ボタン(■)
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  リモコン
  停止ボタン(■)
  シャッフルボタン(SHUFFLE)
  イントロチェックボタン(INTRO CHECK)

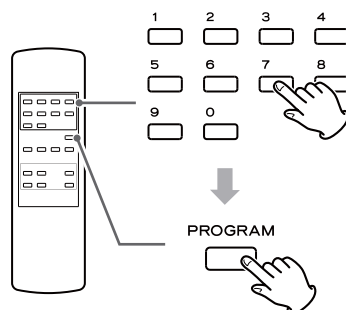
プログラム再生

ディスクの中から、再生したい順番に64曲までプログラムすることができます。

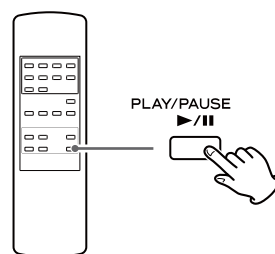
1 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す。

CDの場合

MP3ディスクの場合

MEMORY(メモリー)インジケーターが点灯し、プログラムモードになります。

● プログラムを中止したいときは、停止ボタン(■)を押してください。

2 (MP3ディスクの場合)
数字キーでフォルダを選択し、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

● フォルダ選択には、スキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)も使えます。
● フォルダに入っていないMP3ファイルは、「01」(ROOT)フォルダの中にあります。

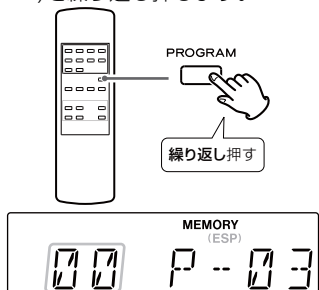
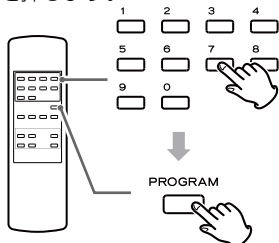
3 数字キーで曲番またはファイルを選択し、プログラムボタン(PROGRAM)を押す。

選択した曲番またはファイルがプログラムされ、「P-02」が表示されます。

● 曲番またはファイル選択には、スキップボタン(|◀◀ / ▶▶|)も使えます。
● 複数の曲をプログラムするときは、2～3の手順を繰り返してください。
● 64曲までプログラムできます。
● プログラムを中止するには、停止ボタン(■)を押します。このとき、既にプログラムされた内容は記憶されます。再生/一時停止ボタン(▶/II)を押すと、プログラム再生することができます。

4 プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(▶/II)を押す。

プログラム再生が始まります。

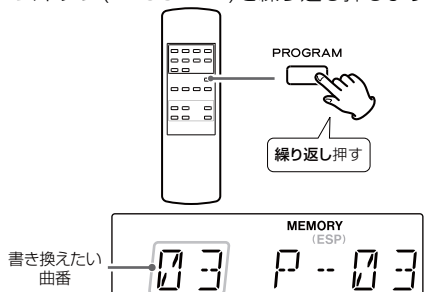
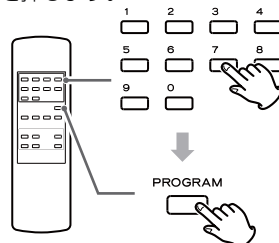
● プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、再生/一時停止ボタン(▶/II)を押します。
● 本体の電源スイッチ(POWER)、または開閉ボタン(⏏)を押すとプログラム内容は消去されます。
● プログラム再生中はシャッフル再生はできません。
● プログラム再生中は数字ボタンでの選曲はできません。

プログラムの最後に曲を追加するには

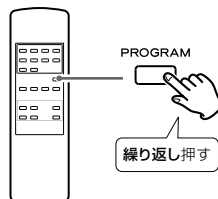
停止中に、**「00」が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

数字ボタンで追加したい曲番を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押します。

● 曲番選択には、スキップボタン(⏮/⏭)も使えます。

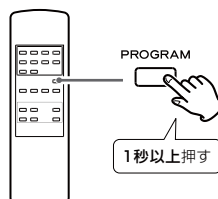
選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

プログラムの一部を書き換えるには

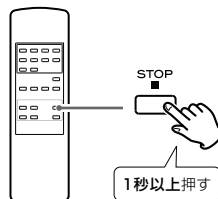
停止中に、**書き換えたい曲番が表示されるまで**プログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押します。

数字ボタンで新しい曲番を選び、プログラムボタン(PROGRAM)を押します。

● 曲番選択には、スキップボタン(⏮/⏭)も使えます。

新しく選択した曲番がプログラムに追加されます。

プログラムの内容をチェックするには

停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を繰り返し押すと、プログラムされた曲番とプログラム番号が順番に表示されます。

プログラムモードをやめるには

停止中に、プログラムボタン(PROGRAM)を1秒以上押し続けます。MEMORY(メモリー)インジケーターが消えて通常のモードに戻ります。

● 既にプログラムされた内容は消えません。プログラムボタン(PROGRAM)を押してから、再生/一時停止ボタン(▶/❚❚)を押すと、プログラム再生することができます。

プログラムの内容を消去するには

停止中に停止ボタン(■)を1秒以上押し続けると、プログラム内容が消去されます。

● MEMORY(メモリー)インジケーターが表示されていないときは、プログラムボタン(PROGRAM)を押して、プログラムモードに切り換えてから消去してください。

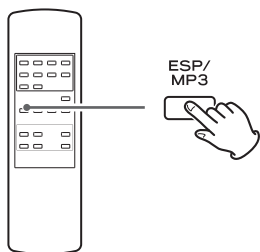
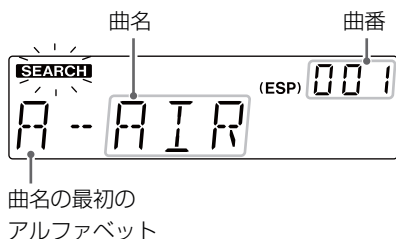
または、本体の電源スイッチ(POWER)、または開閉ボタン(⏏)を押すとプログラム内容は消去されます。

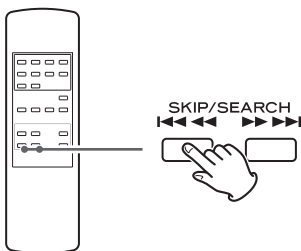
サーチモード(MP3ディスクのみ)

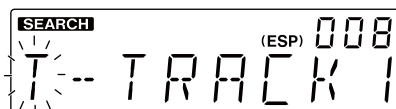
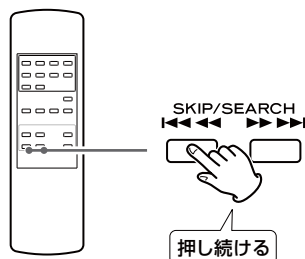
曲名をサーチして選択し、再生することができます。

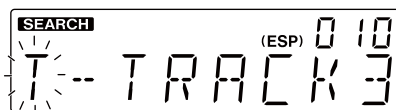
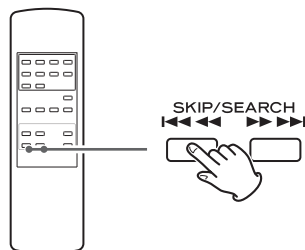
ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われ、「UNKNOWN (不明)」が表示される場合、正確にサーチできません。

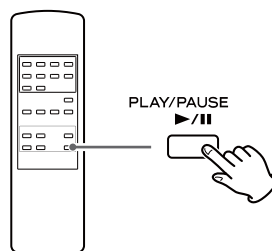
曲名をサーチする

1 再生中または停止中に、MP3ボタンを押す。

SEARCH(サーチ)インジケーターが点滅し、曲名の最初のアルファベットと曲名と曲番が表示されます。

- サーチモードをやめるには、停止ボタン(■)を押します。(再生中の場合は停止します)
  または、MP3ボタンを2回押します。(再生中の場合は停止しません)
- 該当する情報がないときは「NONE (なし)」が表示されます。

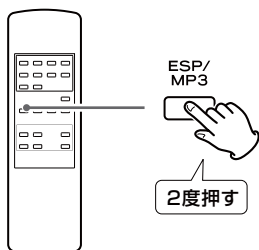
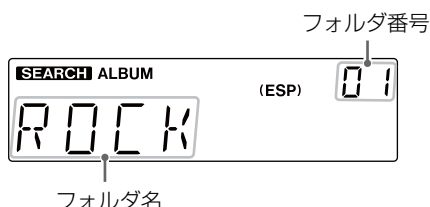
2 スキップボタン(⏮/⏭)を押して聴きたい曲名の頭文字を選ぶ。

- ⏭を押すと、A から Z → 0 から 9、
  ⏮を押すと、9 から 0 → Z から A の順でサーチします。

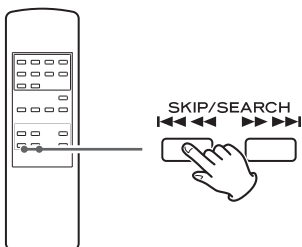
3 聴きたい曲名の頭文字が見つかったら、頭文字が点滅するまでスキップボタン(⏮/⏭)を押し続ける。

4 スキップボタン(⏮/⏭)を押して、聴きたい曲を頭文字が同じ曲名の中から選ぶ。

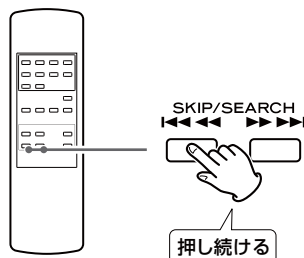
SEARCH (ESP) 010
T -- TRACK3

- 頭文字の選択(1 の画面)に戻るには、スキップボタン(⏮/⏭)を押し続けます。

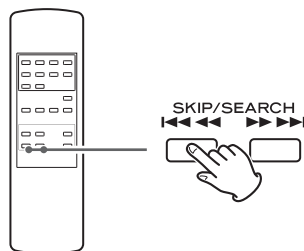
5 再生/一時停止ボタン(►/II)を押す。

選択した曲の再生が始まります。

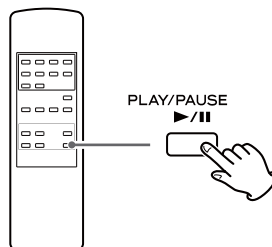
フォルダ内の曲をサーチする

1 再生中または停止中に、MP3ボタンを2度押す。

SEARCH（サーチ） ALBUM（アルバム）インジケーターが点灯し、フォルダ名が表示されます。

- サーチモードをやめるには、停止ボタン(■)を押します。(再生中の場合は停止します)
  または、MP3ボタンを2回押します。(再生中の場合は停止しません)
- 該当する情報がないときは「NONE (なし)」が表示されます。

2 スキップボタン(⏮ / ⏭)を押して聴きたい曲が入っているフォルダを選ぶ。

- ⏭を押すと、A から Z → 0 から 9、
  ⏮を押すと、9 から 0 → Z から A の順でサーチします。
- フォルダに入っていないMP3ファイルは、「01」(ROOT)フォルダの中にあります。

3 聴きたい曲が入っているフォルダが見つかったら、ALBUM（アルバム）インジケーターが消えるまでスキップボタン(⏮ / ⏭)を押し続ける。

- フォルダの選択(**1** の画面)に戻るには、スキップボタン(⏮ / ⏭)を押し続けます。

4 スキップボタン(⏮ / ⏭)を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 曲を選択しないで再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押すと、選択されたフォルダの最初の曲から再生が始まります。

5 再生/一時停止ボタン(►/❚❚)を押す。

選択した曲の再生が始まります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

リモコンで操作できない。

➡ 本体の電源をオンにしてください。
➡ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

音が出ない。

➡ アンプとの接続を確認してください。
➡ アンプの操作を確認してください。

再生できない。

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスク、ファイナライズされていないディスクは再生できません。CD-R/CD-RWを再生するときは、録音/ファイナライズされているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。

音飛びがする。

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ 震動がある場所で使用する場合は、音飛び防止機能をオンにしてください。(13ページ)
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたディスクは使わないでください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1〜2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

仕　様

CDプレーヤー

ピックアップ . . . . .3ビーム、半導体レーザー
デジタルフィルター
8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
周波数特性 . . . . .20Hz〜20kHz ±2dB
全高調波歪率 . . . . .0.03%以下(1kHz)
S/N比 . . . . 83dB以上(IHF-A)
アナログ出力 . . . . 2.0Vrms(RCA)

一般

電源 . . . . .100V AC, 50-60Hz
消費電力. 10W
外形寸法(幅、高さ、奥行). . . . . 435x100 x285 mm
質量 4.1kg
許容動作温度 . . . . +5℃〜+35℃
許容動作湿度 . . . . .5%〜85%(結露のないこと)
許容保管温度 . . . . −20℃〜+55℃

付属品

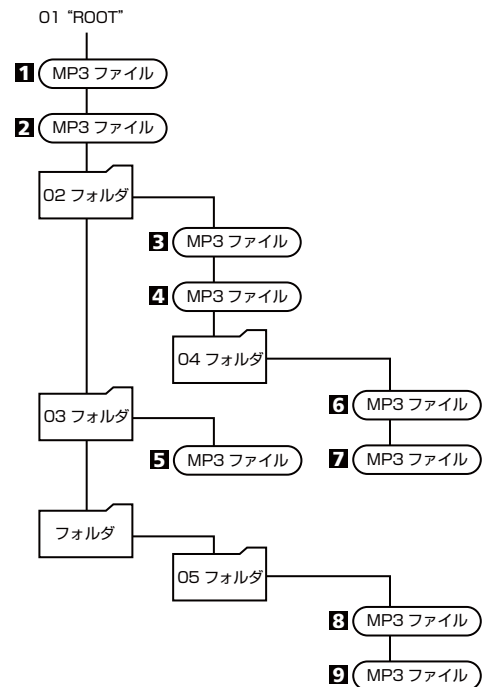
RCAオーディオケーブル×1
リモコン(RC-1044A)×1
リモコン用乾電池(単3)×2
取扱説明書(本書)×1
保証書×1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

MP3ディスクの再生順

MP3ファイルを収録したCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3ファイルをフォルダに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダをまとめて1つのフォルダに収めているものもあります。

本機でMP3ディスクを再生するときのフォルダ番号とファイルの再生順の例

その他

保証とアフターサービス(よくお読みください)

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

20ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー　CD-P1260
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8
電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0709·MA-1474B